

# 伝道運動30年契約の旅

## ~1991

### 1. タラッパン伝道運動のはじまり

- 1975 - 柳光洙伝道師、釜山チュンアン教会で6つの小学校の働きを通じてタラッパン伝道概念確立
- 1982 - 柳光洙伝道師、ピョンファ教会で受け入れと霊的問題との関係を確認
- 1984 - 柳光洙牧師、トンソン教会で公団の働きと霊媒師の働きを通じて未信者状態6つのメッセージ確立
- 1987 - トンサムジェイル教会（現 インマヌエル教会）設立、柳光洙牧師主任牧師として赴任  
- トンサムジェイル教会一般信徒伝道学校開校
- 1988 - 影島全域でタラッパン運動拡散、賛美伝道、学校伝道、公団伝道実施
- 1991 - 伝道基礎訓練が6期まで実施されて920人が修了、タラッパン117個が釜山全域に拡散  
- スヨンロ教会伝道集会  
- 釜山慶南牧師500人を対象にした伝道訓練実施、釜山内の他教会信徒が働き人として確立  
- トンサムジェイル教会でタラッパン伝道学校開校  
- 13か所で宣教館運動を広げる  
- 釜山老会が伝道活動中断を要求する。  
「みなさんがすべて離れても、私一人でも残って伝道します」（柳光洙牧師）  
- トンサムジェイル教会釜山老会脱退、柳光洙牧師除名および免職  
- タラッパン伝道訓練院設立



## 1992~1999

### 2. 迫害の中で5基礎確立

- 1992 - タラッパン伝道に対する教材出版開始  
- チームの働きメッセージ宣言  
- 牧会者修養会実施（現 火曜集会）  
- 第1期全国中高大青夏季修練会実施  
- 第1期タラッパン伝道訓練院、牧会者と使命者のための1次合宿訓練実施
- 1993 - 大邱ドンファン教会（現 マガタラッパン教会）で第1号タラッパン伝道学校設立、以後全国200か所に急速に拡散  
- チームの働き合宿訓練実施
- 1994 - 伝道神学院開校  
- 東南アジアで初めての海外伝道集会開催  
- 初めての海外宣教師派遣（シンガポール）
- 1995 - 70人1次合宿訓練実施  
- ミッションホームメッセージ宣言
- 1996 - 社団法人世界福音化伝道協会発足  
- 専門の働きメッセージ宣言  
- 大韓イエス長老会合同第81回総会、タラッパン伝道運動異端規定  
- 世界産業宣教会発足、産業宣教礼拝開始
- 1997 - 宣教師訓練院開校  
- 第1次世界宣教大会トンサムジェイル教会（現 インマヌエル教会）で開催（宣教師17人）  
- 大韓イエス長老会伝道総会創立（初代総会長バク・チオン牧師）  
- 地教会メッセージ宣言
- 1998 - 第1次世界産業人大会ソウルオリンピック・パークテルで開催  
- 第1次世界Remnant大会「起きよ光を放て（Arise and Shine）」主題で開催  
- ソウル連合集会に1万人が集まる  
- 青少年未来指導者訓練院開校（現 RLS）
- 1999 - 総会神学研究院開校（現 Remnant神学研究院）  
- 伝道キャンプ時代宣言、伝道キャンプ働き開始



## 2000~2009

### 3. 伝道キャンプとRUTC時代

- 2000 - 江北老会で初めての伝道キャンプ実行  
- 第3次世界Remnant大会アメリカLAで開催  
- American University of California引き受け（現 Remnant University）
- 2001 - 新しい家族合宿訓練実施
- 2002 - トンサムジェイル教会、インマヌエル教会に改名  
- 総会神学校（現 Remnant神学研究院）、梅谷里キャンパス（現 徳坪RUTC）移転  
- 世界福音化伝道協会、宣教ビルディングに入居  
- 第1次北アメリカ産業人大会開催
- 2003 - 伝道合宿訓練実施、20の戦略完成  
- 世界産業宣教会ヤング産業人会スタート  
- 世界宣教文化祝祭に1万7千人が参加
- 2004 - 世界Remnant大会が4千人余りの規模に拡張され、ミュージカル『契約の旅』が初演される  
- 世界福音化常任委員会スタート  
- 世界宣教大会のために4600人が12か国14個の圏域で伝道キャンプ進行  
- Remnant祈りの手帳出版  
- アメリカRemnant大会開催で大陸別、国家別Remnant大会時代が開かれる
- 2005 - 第8次世界Remnant大会が日本名古屋で開催  
- 大邱でRemnantインターンシップ 初めての祈りスクール開始  
- Remnant共同訓練場（RUTC）建設のための全国大会がアンサンバルボク教会（現 イエジョン教会）で開催
- 2006 - RUTC時代宣言  
- 世界Remnant大会、1万人余りの規模に成長
- 2007 - 世界Remnant大会タウン集会実施  
- Oneness Mission Club発足  
- RUTC放送局開局  
- 第1号英語宣教学校（EMS）開校
- 2008 - ヤング産業人会主管でRemnantインターンシップビジョンスクール開始  
- 重職者時代宣言、重職者伝道企画（お弁当堂会）釜山で開始
- 2009 - 重職者大学院全国30個の老会組織別に開校  
- Remnantグローバルスクール（RGS）開校

## 2010~2017

### 4. 伝道者の生活と集中

- 2010 - 「伝道者の生活」メッセージ宣言  
- 伝道専門訓練実施
- 2011 - RUTC放送、海外放送局と協約を結び福音メッセージ放送開始  
- 大韓イエス長老会（改革）総会へ招聘  
- 世界産業宣教会専門別集い開始  
- 韓国内5地域で毎月Remnantデー開始
- 2012 - 重職者大学院300個の個教会別システムに改編  
- 韓国キリスト教総連合会異端対策委員会で開催、タラッパン伝道運動に異端性がないと確認される
- 2013 - 1万教会運動のための地域別伝道専門集中訓練集会実施  
- 個教会ごとの事情に合わせた集中訓練開始  
- 韓国キリスト教総連合会実行委員会タラッパン伝道運動異端性なし決議  
- 海外宣教放送、43か国183地域に拡散  
- 産業宣教会とRemnant総局が連合してRemnantデーで専門別インターンシップ開始
- 2014 - 集中伝道神学院開校  
- 秘密決死隊、Remnantミニストリー、ホーリーメイソン運動開始
- 2015 - ムスリム国家含む海外RUTC多数設立
- 2016 - 多民族弟子訓練システム本格化  
- バヌアツ、オセアニア伝道集会、バヌアツ公営放送を通じた生中継、バヌアツ国立ヘリユン幼稚園完工式  
- 愛国キリスト連合スタート
- 2017 - 第2RUTC時代、7分野現場メッセージ宣言  
- ナギヨン、感謝ヒーリング奉仕団、RUTCミッション委員会など7現場の働き開始  
- EMS、バヌアツとアフリカ地域に拡散  
- 伝道者の生活62メッセージ整理  
- 第1回重職者大会 徳坪RUTCで開催

## 2018~

### 5. 237時代の開幕

- 2018 - 第3RUTC時代、いやし専門集中学校・サミット専門集中学校時代宣言  
- 世界Remnant大会、バヌアツ共和国オベッド・モーゼス・タリス大統領などが参加した中で2万人規模で開催、契約の旅CVDIPメッセージ宣言  
- 社団法人サミット237スタート、ソウル大雨水研究所と協力してバヌアツに雨水飲料水化施設設置  
- 柳光洙牧師、大韓キリスト教総会伝道特別大賞受賞  
- 第1回OMC奨学生修練会開催  
- RU本校LAへ移転して多民族弟子働き本格化
- 2019 - ソウル江西区登村洞に237センター準備  
- オセアニア（バヌアツ）伝道集会と南太平洋平和記念式、国連SDGs（持続可能な開発目標）セミナーが開かれる  
- RUおよびRTS専門家重職者神学訓練開始  
- 237訓練開始

